

# 製本のススメ

Vol. 53

東京も梅雨入りでお日様が恋しいですが、雨が降らないと作物が育ちませんからこれもまた必要です。天気が悪い！と文句は言わず健やかにすごせる様にエコ的な工夫をしたいものですね。

今回は**正確な指示**の話（1回目）

昨今 安易な指示によるトラブルが特に増えています。まずは正確な指示をどう出すのか、日頃の作業を見直してみませんか？

## 一般的な製本見積りの上手な取り方

出来上がりを自分で必ずイメージする事が大切です。何だかわからない物をどうやって説明できるのでしょうか？時々客先からの見積り依頼書のまま FAXされてくる場合があります。問い合わせても『～じゃないかと思うんですよね』とのお返事。。。これでは安価は出せません。

製本加工では出来上がりと同じでも途中の加工方法が違うと、納期も加工賃も大きく差が出てしまいます。安価の金額提示がほしいわけですから、紙質や面付け・紙変えの扉・ミシンやスジ等も詳細がわかる限り細かく書きましょう。詳細が不明な場合は客先に問い合わせるか、**条件を仮定した指示**があると良いですね。（100頁で500冊ではなく、16P\*6台と4p\*1台で500冊というように）つまり、刷り方をイメージしないと【仮定】することも出来ないわけです。

**概算金額の場合でも**、印刷内容の有無では算出される金額に大差がでるのは当たり前です。出来るだけ安くう～と言われることも多いのですが、安く出来そうな材料が出ない限りは、提示のしようがありません。

また意外と忘れがちなのは【**横本**】の指示です。同じサイズでも縦型と横型では、全体の金額が2割～3割上がります。これは製本の加工時間が変わるためです。通常の見積りでは、横本の指示が無い限りは一般的な縦型の製本加工として金額をだしますの、のちのちトラブルにならぬように注意しましょう。余談ですが納期にも当然影響がでますので、注意してください。



## Teabreak

暑くなってくると冷えたビールが美味しいですね。ビールの命は何と言っても【泡】です。泡は口当たりを滑らかにし、苦味やアルコールの刺激臭を和らげるのでビール独特の香りを楽しむことができます。ですが冷えすぎるとこの泡が立ちづらく、香りが薄らいでしまいます。国産のビールは10度前後で一番美味しい泡が立つようになっているそうです。

by (株)  関製本